

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2023年 6月 30日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
東京都新宿区西新宿3-20-1

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
株式会社ロツテ 代表取締役社長執行役員 牛腸 栄一

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、 [事業者行動計画を 策定 (変更)] したので、提出します。
[事業者行動報告書を作成]

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社ロツテ 代表取締役社長執行役員 牛腸 栄一
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	東京都新宿区西新宿3-20-1

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社ロツテ 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県近江八幡市安土町西老蘇147-1					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	9	7	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 その他のパン・菓子製造業
事業の概要	アイスクリーム及び菓子製造					
従業員の数	243	人	操業時間	24	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	4	台	熱源設備	4	台
	コンプレッサ	7	台	空気調和設備	台	その他

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2022	年度	報告対象年度	2022	年度
	終了 年度	2026	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

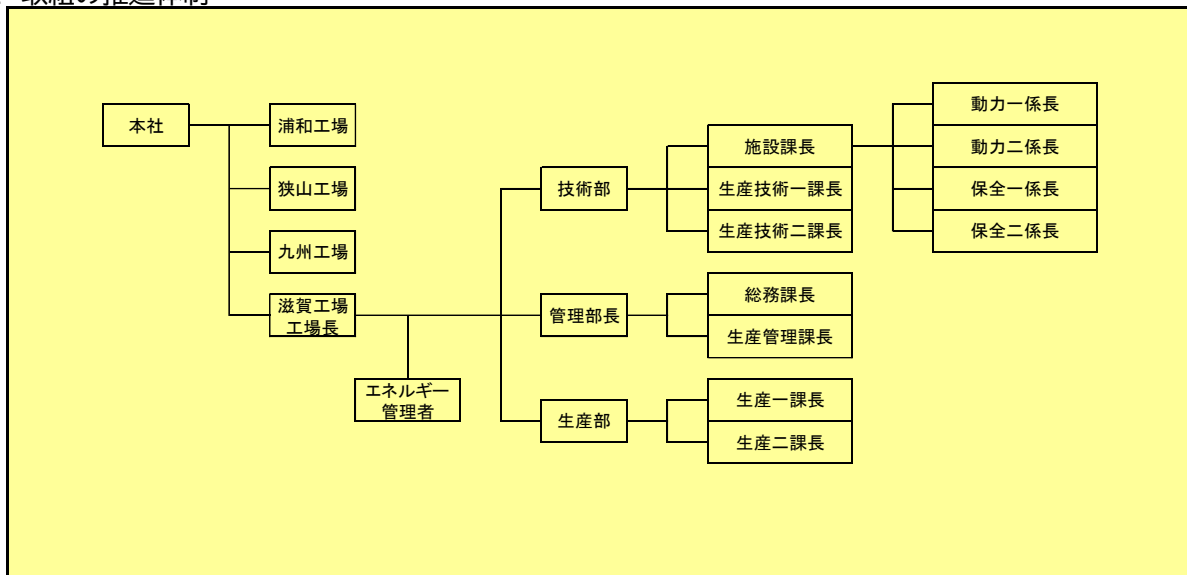
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たちは、地球環境の保全が生命の存続に係わる最重要課題として捉え、地球の一員として継続的な改善活動を行い、皆様から信頼される会社であり続けることを目指します。

1. 私たちは、天然資源を有効に活用するよう、省エネルギー・廃棄物削減活動を継続します。
2. 私たちは、限りある天然資源を未来の世代も使用できるよう、環境保護活動を行います。
3. 私たちは、企業活動から発生する生物・水・空気への汚染物質を適正管理し、削減します。
4. 私たちは、地球温暖化対策に貢献するために、温室効果ガス排出の抑制活動を行います。
5. 私たちは、環境関連法規、自主管理基準を遵守します。
6. 私たちは、持続可能な社会づくりに必要なこれらの取り組みを行うために、継続的に教育活動を行います。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・エネルギー使用の実態把握・省エネ対策検討を行う水光熱部会を開催し、分析・対策会議を毎月実施
- ・ブライン冷凍機更新統合による省エネ
- ・空気圧縮機使用量削減取り組みによる省エネ(エアールール改善、設備改善)
- ・照明器具更新による省エネ
- ・購入電力の一部をCO₂フリーの環境価値電力に変更
 - 2020年12月～2021年11月:5万kWh/月 (2021年度購入実績 800千kWh)
 - 2021年12月～2022年11月:10万kWh/月 (2022年度購入実績 1,325千kWh)
 - 2022年12月～各月使用量の9%

これら取り組みにより、2022年度末までに温室効果ガスの排出量の原単位が2021年度対比 2.3%削減

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	製品冷凍庫用冷凍機の更新	2022年度～2023年度	2023年2月より更新工事着工(2023年7月頃完了予定)
2	運用改善	エアリーク改善による使用量削減【削減見込:51kL/年】	2022年度～	計画通り実施し2022年度(81.9kL)削減
3	設備導入	照明LED化更新【削減見込:19kL/年】	2022年度～2026年度	2022年度58台を46台に減らし更新(1.67kL/年)削減
4	設備導入	チルド冷凍機の更新	2025年度	
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組み等により、2021年度を基準年度として、以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>「 温室効果ガス排出量 原単位 _____ で毎年1%削減 生産金額(百万円) _____ 」</p> <p>エネルギーの使用は生産増減により影響があるため原単位設定を行い効果の確認を行う。 なお、実績と適切に対比させるため、計画期間中の各年度の温室効果ガス排出量の算定に当たっては、電気のCO₂排出係数は基準年度の計数に固定して算定します。</p>	<p>【2022年度】 上記取組によりエネルギー使用量の削減につながり原単位は基準年度に対し-2.3%であり達成</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2022)年度	()年度	()年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	6,230	6,416				
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	9,733	8,820	0	0	0	0
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	9,733	8,820				
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0					
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.384	0.329				

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	総使用量の一部を再生可能エネルギー由来の電気とし	毎年12月更新	2021(R3)年度 800千kWh購入
2	太陽光発電設備導入	2025年導入	計画検討中
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	再生可能エネルギー由来の電気購電を継続
2	太陽光発電設備(ソーラーカーポートタイプ)の導入
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0			
上記のうち自家消費量	kWh	0	0			

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	()年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	9,245	8,640				
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	9,245	8,640				
【調整後排出係数】	kg-CO ₂ /kWh						
特記事項	・一部再生エネルギー由来の電力を購電(開始年度800千kWh、2022年度1,325千kWh) ・毎年購電良を増やしていく予定						

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
	保有車輛の数	台						
	上記のうち 次世代自動車の数	台						
	特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	井水使用量の削減	2022～ 2026年度	対前年原単位比99%
2	3R	廃棄物の発生の抑制(対前年原単位比99%)	2022～ 2026年度	対前年原単位比109% 生産増加があるも廃棄 物が増加し未達
3	3R	リサイクル化の推進(自社総廃棄物99%リサイクル化)	2022～ 2026年度	リサイクル率98.5% 未達
4	SBT	一部再生可能エネルギー由来の電気を購電 (関西電力:再生エネCO ₂ プラン)	2022～ 2026年度	2022年度 1,325千kWh購電 (396t-CO ₂ 減)
5				